



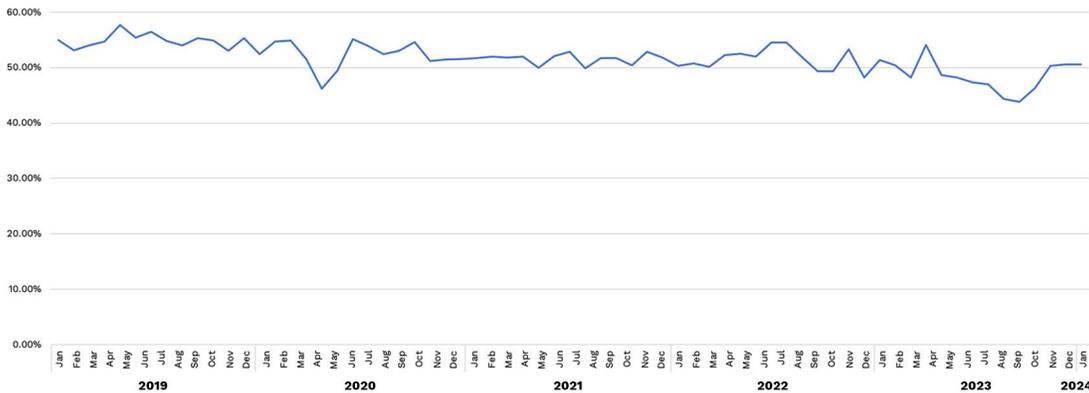
# 2024 年年次報告書 - 要旨 -

犯罪予防、教育、法執行を通じた正義の追求

## 責任と効果的な起訴慣行

- 検事局は、公共の安全に対して実質的な利益をもたらさないことが統計上示された犯罪で起訴された人々への刑事司法制度の影響を軽減する一方、**公共の安全**を向上させる起訴方針を導入しました。

重罪起訴率



法執行機関から検事局に提出される暴力犯罪の起訴率は一貫しています。Gascón検事の指導の下、私たちは軽犯罪の起訴を依存症にのみ関連するケースから再集中させ、暴力、特に家庭内暴力が発生する軽犯罪を優先しています。

- 2023年、Gascón検事は初の**労働正義ユニット**(LJU)を設立しました。LJUは、労働法の執行に特化した経験豊富な検察官と調査官のチームを専任し、賃金窃盗、不当労働行為、労働者の搾取、残業代未払いのケースで既に成果を上げています。
- 環境正義**は、社会経済的地位、人種、民族にかかわらず、すべてのコミュニティにおける環境利益と負担の公正かつ平等な分配が公共の安全にとって重要であることを認識しています。2023年6月、Gascón検事はワッツのジョーダン高校に影響を与えた環境犯罪に対して、アトラス・アイアン・アンド・メタル社とその所有者に対し、**22件の重罪**および2件の軽犯罪を起訴することを発表しました。

## 法執行機関の責任

- 2023年、LADAは**56人の法執行官**に対して、飲酒運転から故意の過失致死までの犯罪で**48件**を起訴しました。これまでのところ、Gascón政権は**153人の法執行官**に対して**140件**を起訴しています。
- Gascón検事の指導の下、検事局は、職務中の警官が関与する発砲事件に関連する犯罪事件を、過去20年の合計よりも多く起訴しました。Gascón検事は、職務中に不当な力を使用した17人の警官に対して**10件の犯罪事件**を起訴し、8人の警官に対して職務中の発砲に起因する6件の事件を起訴しました。**2021年から2023年の間に、合計で25人の警官**に関与する**16件の事件**が起訴されました。それに対して、Lacey政権は2012年から2020年の間に1件の発砲事件を起訴し、Cooley政権は2000年から2012年の間に起訴を行っていません。



# 2024 年年次報告書 - 要旨 -

犯罪予防、教育、法執行を通じた正義の追求

## 被害者サービスの推進

- 2023年初頭にGascón検事が共著したLAタイムズのオピニオン記事に触発され、ミゲル・サンティアゴ議員は、DAやコミュニティの提唱者たちと協力して、**不法移民の犯罪被害者や目撃者**が名乗り出ることを促す法案を作成しました。この法案は、彼らを強制退去から保護するものです。AB 1261、「移民の権利法」は、2023年10月にニューサム知事によって法律として署名されました。

## 司法改革

- Gascón検事の下、事実上無罪の主張や誤審を検討する有罪確定の正当性ユニット(CIU)は、規模が**三倍**に拡大しました。これまでに**6人**が無罪となりました。
- Gascón検事は、就任初日から青少年を大人として起訴する一般的な慣行を終わらせましたが、各事件には独自の状況や事実があることを認識しています。この政策の変更により、**わずか10件の少年事件が大人の裁判所に移送される必要**がありました。2021年以降、少なくとも**747人の青少年が成人裁判制度から除外**され、代わりに少年裁判所でその事件が扱われました。
- Gascón検事は、就任初年度に検事局の再判決ユニット(RU)を設立しました。過去3年間で、約244人が再判決を受けました。再判決により釈放された187人のうち、誰も新たな犯罪で有罪になっておらず、再犯率は0%です。
- Gascón検事は、2020年12月7日に就任して以来、**死刑を求める慣行を終わらせました**。これにより、ロサンゼルスがアメリカで最も多くの人を死刑囚にした過去数十年の慣行が終息しました。また、LADAは**カリフォルニア州の死刑囚29人を無期懲役に再判決**しました。ほとんどの人が知的または認知障害、あるいは脳損傷を抱えています。72%が黒人、17%がラテン系、2人が白人、1人がアジア系です。



これまでに **244** 人が再判決を受けました。

そのうち、再判決によって釈放された187人は、誰も新たな犯罪で有罪になっていません。



**747** 人の青少年  
が成人裁判制度から除外されています。



**29** 人  
カリフォルニア州の死刑囚29人が、仮釈放の可能性なしの無期懲役に再判決されました。

## コミュニティアクセス

- 2023年、Gascón検事は、ラテン系コミュニティ、多宗教間コミュニティを代表する**諮問機関を2つ**設けました。同諮問機関は、犯罪被害者、アフリカ系アメリカ人、LGBTQ+,そしてアジア太平洋系アメリカ人の諮問機関に追加され、それぞれのグループはロサンゼルスカウンティの司法システムに大きな影響を与えられ追いやられたコミュニティのメンバーを代表しています。これら**6つ**の委員会は、LADAと私たちが代表するコミュニティの間の重要な架け橋として奉仕しています。

Japanese